

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヴィストカレッジ富山県庁前		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年11月4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	90	(回答者数) 62
○従業者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者情報等を、スタッフ全員が周知し、統一した支援に当たっている。	終礼でその日の利用者さんの状況を報告、記録に残し、当日出社していないスタッフにも周知している。 支援チャットを作成し、特記事項や保護者ニーズの変更等があれば掲載し、その都度報連相を行っている。	情報が全員に必ず周知できるよう、リマインドの声掛けや、内容の把握、支援についての検討を行います。
2	カレッジだよりの定期的な発行、及び集团ワーク・新教材の紹介新聞の作成を行い、保護者への周知に努めている。	カレッジだよりは年4回発行 LINEにて保護者に送付し、イベント紹介・新教材の紹介は2ヶ月に1回作成 エントランスに掲示している。	保護者のニーズを適時伺いながら、発行回数や内容の検討を行います。
3	ニーズに沿った個別支援計画を作成し、計画に則った支援を提供している。	面談からニーズを拾い、支援計画に反映できるよう努めている。 個別支援会議でスタッフ間で密に話し合っ計画を作成している。 個別支援計画に沿った支援内容を提供できるよう、スタッフ間で意見・情報交換を行っている。	新人スタッフの育成として、児童発達支援責任者が面談に同席し、ニーズに沿った個別支援計画が作成できるよう丁寧な指導を行っています。 ニーズに応じた新しい支援が常に提供できるよう、情報交換や自己研鑽を重ねていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各関係機関との情報共有の場が少ない。	希望される保護者には学校連携の情報は提供しているが、全体での情報発信は行っておらず、そもそもサービスの認知度が低い。	面談の際に、現状やニーズに応じて情報共有や発信を行う。 学校連携の経験があるスタッフより、ノウハウを学ぶ機会を設ける。
2	各種マニュアルを提示してはいるが、エントランスで待機される保護者が少ないこともあり、周知には至っていない。	エントランス自体、待機場所としての機能を果たしていない。 落ち着ける場所ではない。	マニュアル等の掲示物の位置を工夫する。 マニュアルの存在の周知を行う。
3	有事の際の避難訓練の実施・避難経路の周知を事業所内では行っているが、保護者への周知までに至っていない。	実施内容を周知する機会がない。 利用者さんを巻き込んだ訓練の実施が出来ていない。	ワーク中に利用者を巻き込んだ防災デーを設定し、避難訓練を実施する。 事業所内で実施した研修や訓練の内容を、カレッジだよりを通して周知する。